源義経（1955）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
時間 94分
初公開日 1955/07/30

【解説】
村上元三の同名小説を「虚無僧系図」の八尋不二が脚色し「あばれ纏千両肌」の萩原遼が監督した。中村錦之助が源義経、月形龍之介が武蔵坊弁慶を演じ、錦之助の実父である中村時蔵が映画初出演を果たした。
承安四年、牛若丸は鞍馬山蓮忍に預けられていた。母の常盤は子供三人の命を救い守るため、憎むべき平家に身を下し、一条大蔵卿の妻となって京にいる。牛若丸に想いを寄せるうつぼの兄である三郎は、もともとは源氏の一族だったが今では平家の手先となっていた。三郎は与八昌営たちと牛若丸を襲うが、逆に撃退されてしまう。ある日、武蔵坊弁慶ら山法師らと平教経の一党との騒ぎに巻き込まれ、うつぼが教経の鞭に打たれて倒れた。思わず教経を打ち据えた義経は、平清盛の逆鱗に触れてしまい…。

【クレジット】
監督 萩原遼
製作 大川博
企画 マキノ光雄
藤本真澄
大森康正
原作 村上元三
脚本 八尋不二
撮影 吉田貞次
美術 塚本隆治
音楽 小杉太一郎
出演 中村錦之助
中原ひとみ
月丘千秋
山田五十鈴
月形龍之介
中村時蔵
小沢栄
竜崎一郎
三島雅夫

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.